

---

## 情報モラル教育に係るアンケート結果及び今後の対応について

---

### 1 趣旨

本市では、ネットいじめの防止に向け、SNSをはじめとする情報モラルの向上を図るため、本年度から兵庫県立大学の竹内研究室と連携して市立小学校に情報モラル教育支援員を派遣して出前授業を実施する「情報モラル教育支援員派遣事業」を実施してきました。

そして、出前授業の実施に際して、本市の小学生におけるスマートフォン等の使用に係る実態把握のためのアンケート調査を実施しました。

### 2 アンケートの結果概要 (1) アンケートの実施状況

① 実施時期について 令和2年7月～8月 ② アンケートの回答者

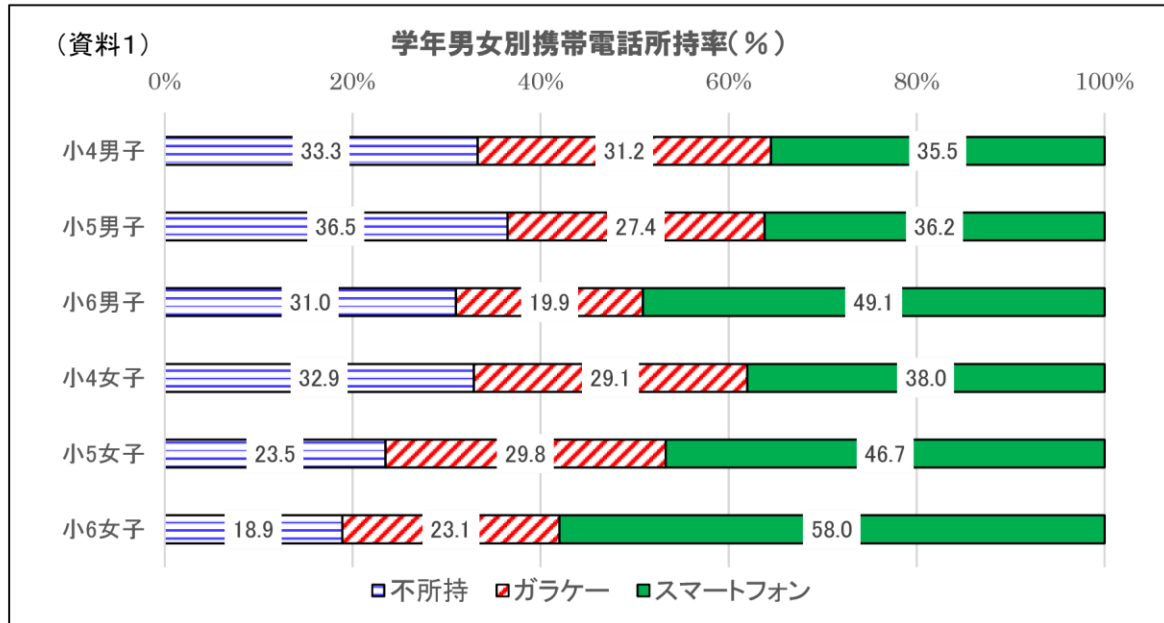
	男子	女子	合計
小学4年	145	166	311
小学5年	724	727	1,451
小学6年	937	996	1,933
合計	1,806	1,889	3,695

(単位：人)

(2) 結果概要について

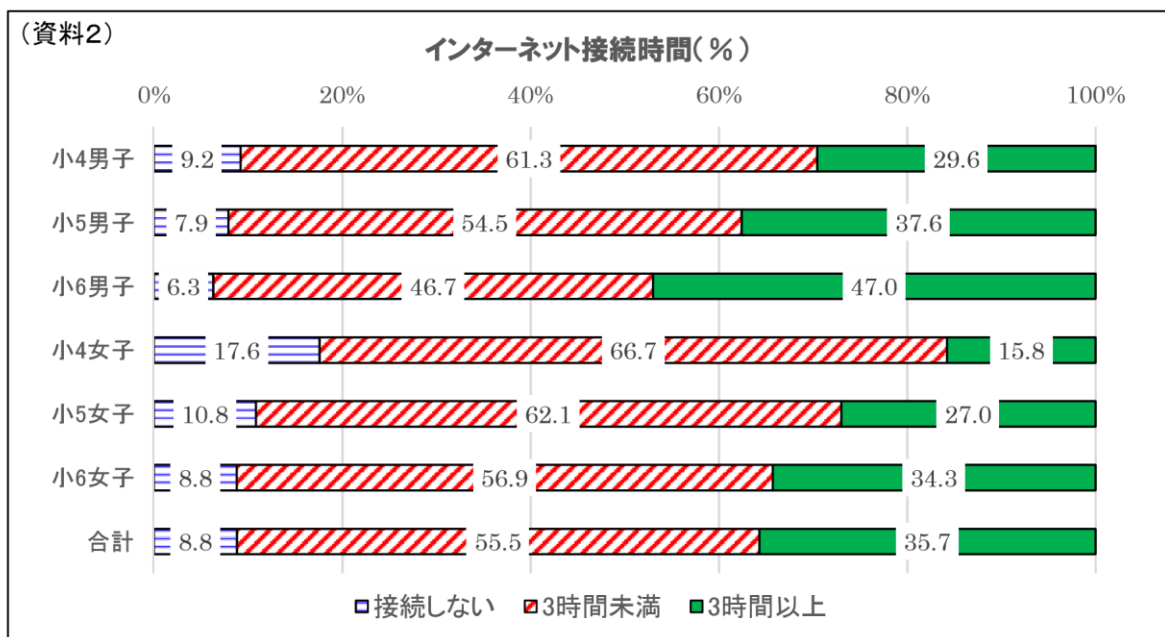
① 学年男女別携帯電話所持率について（資料1参照）

- 小学生におけるガラケーとスマートフォンを合わせた所持率は、小4～小6の男子及び小4女子ではいずれも60%台となっていますが、小5女子では76.5%、小6女子では81.1%と高い割合となっています。
- また、いずれの学年においても男子より女子のほうが所持率は高くなっています。



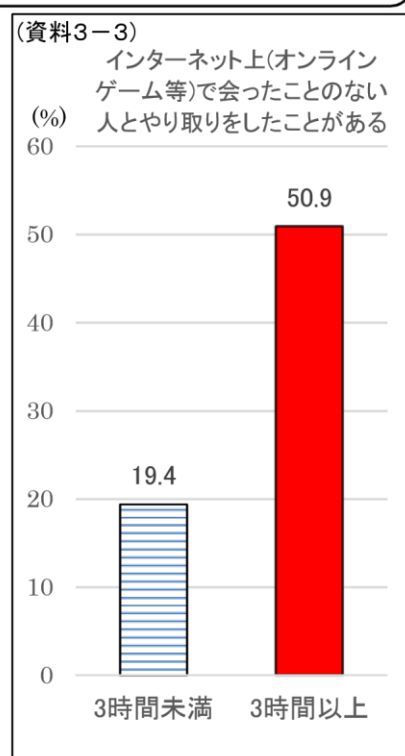
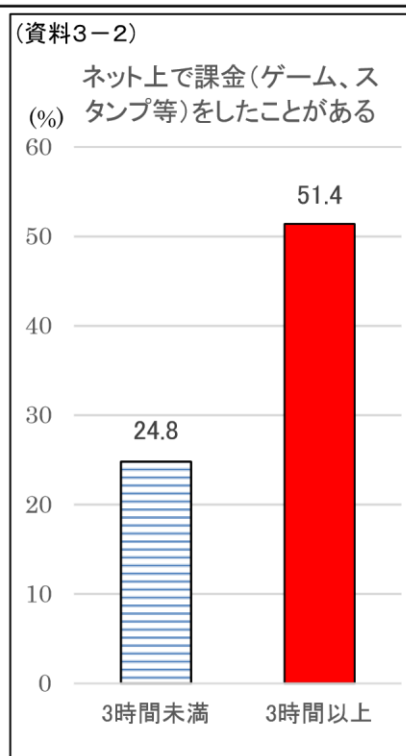
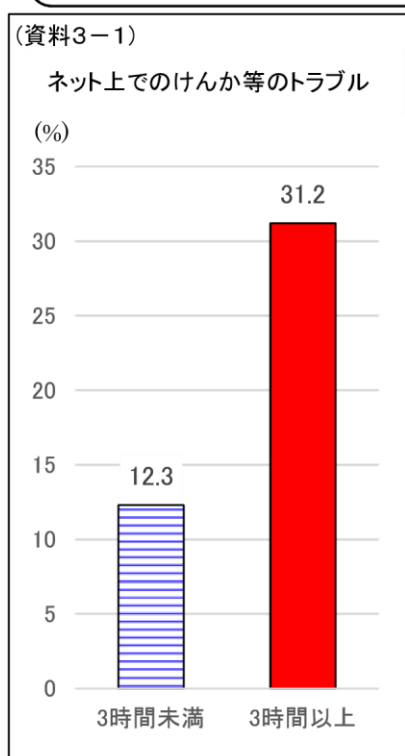
② インターネットへの接続時間について（資料2参照）

- インターネットへの接続時間については、対象となっているどの学年及び性別を見ても、80%以上の児童がインターネットに接続しています。
- また、3時間以上接続する割合では小6男子が47.0%と最も高くなっており、どの学年を見ても、3時間以上接続する割合は男子のほうが高くなっています。



③ ネットトラブルや課金、インターネット上（オンラインゲーム等）で見知らぬ人と出会う危険性の割合（資料3参照）

- (資料3-1) は、「インターネット上でけんかななどのトラブルを経験した児童」の割合を表していますが、インターネット接続時間3時間未満の児童における割合が12.3%、接続時間3時間以上の児童における割合が31.2%となっています。
  - (資料3-2) は、インターネット上で課金(ゲーム、スタンプ等)をしたことのある児童の割合を表しています。インターネット接続時間が3時間未満の児童における割合は24.8%、3時間以上の児童における割合は51.4%となっています。また、回答の中には、これまでの課金合計が50,000円を超える児童もいました。
  - (資料3-3) は、インターネット上(オンラインゲーム等)で会ったことのない人とやり取りをしたことのある児童の割合を表しています。インターネット接続時間3時間未満の児童における割合が19.4%、接続時間3時間以上の児童における割合が50.9%となっています。
- ※ (資料3-1)～(資料3-3)のいずれを見ても、インターネット接続時間の長い児童の方がインターネットを利用する上での危険性が高い傾向にあることが伺えます。



### 3 今後の対応について

#### (1) 「情報モラル教育支援員派遣事業」の市立中学校への拡充

教育委員会といたしましては、今回のアンケート結果を受けて、児童生徒におけるネットいじめやネットを介した様々なトラブル等を未然に防ぐためにも、「情報モラル教育支援員派遣事業」をさらに充実させる必要があると考えており、令和3年度には対象を市立小学校に加え、市立中学校にも拡充して実施してまいります。

#### (2) 「尼崎市スマホサミット2021」の実施

##### ① 趣旨

本サミットは、「情報モラル教育支援員派遣事業」の一環として、児童生徒による主体的なスマートフォン等の使用に係るルールづくりについて校種の枠を超えた児童生徒がともに考

え、学び、取組の輪を広げるために実施します。また、本サミットは、兵庫県立大学の竹内研究室と連携しながら実施します。

## ② 参加対象

参加対象は、市立小学校、市立中学校、市立高等学校から希望する学校5校程度を考えております。

## ③ 実施内容

児童生徒がスマートフォン等の通信機器やSNSの適切な使い方等について議論し解決策を考える課題解決型のサミットを実施します。また、事前学習のためのワークショップを1回実施する予定です。

また、本サミットにおいては、協議した内容を学校内外の多くの人に発信するとともに、全市的に児童生徒による主体的なスマートフォン等の使用に係るルールづくりを促進させるためにも、参加校による提言等を行うことを計画しています。

## ④ その他

サミットの実施時期については、現在、令和3年の秋ごろをめどに調整中です。

以上